

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
農業と環境	[農業]

履修学科	総合学科
履修学年	第2学年
履修単位	4単位
教科書	農業と環境（実教出版）
副教材	

科目目標
1 農業生物の育成についての体験的・探求的な学習を通して、農業に関する基礎的な知識と技術を身に付ける。
2 農業と環境に関して課題意識を持ち、合理的かつ創造的に解決する力を養う。
3 農業の振興や発展に主体的かつ共同的に取り組む態度を育てる。

学期	月	単元名	学習内容	評価の観点			
				①	②	③	④
1学期	4	第1章農業と環境を学ぶ ①学校農業クラブ活動 ②プロジェクト学習	○農業クラブの目標や活動内容について理解し、各種活動へ参加する。 ○プロジェクト学習のねらいおよび進め方を理解する。 ○トマトなど果菜類の生育観察や記録を通して、植物の生理・生態や環境要素等のまとめや考察を行い、科学的に理解する。 ○日本の農業と食糧供給の現状を理解する ○農業の持つ役割について理解する。 作物（果菜類）と家畜（ウシ）の特性について基本的内容を理解する。	○			○
	5	第4章栽培と飼育のプロジェクト 果実を利用する植物の栽培と利用 トマト・ナスなど		○	○	○	○
		中間考査			○	○	○
	6	第2章私たちの暮らしと農業・農村 日本の農業と食料 農業・農村の役割		○	○		○
		期末考査			○	○	○
	7	第3章栽培と飼育の基礎 作物と家畜の特性		○	○		○
2学期	9	第2章私たちの暮らしと農業・農村 これからの農業・農村	○農業を取りまく課題を理解し、持続的な農業の維持・発展につなげるための理解を深める。 ○秋・冬野菜の栽培を行うために必要な知識・技術を身につけるとともに、科学的探求心を持って野菜作りに取り組み、栽培結果を評価・改善できるようにする。 ○ハクサイ・キャベツ等の栽培を通して、果菜類との相異を学習する。 ○作物の健全な生育を促すための土壌環境および病害虫防除、肥料等について基礎的知識を習得する。 ○地域の土壌の状態を調べ、その性質を理解する。	○	○		○
	10	第4章栽培と飼育のプロジェクト 葉や茎、根を利用する植物の栽培と利用 ハクサイ・キャベツなど		○	○	○	○
		中間考査			○	○	○
	11	作物を取りまく環境とその管理		○	○		○
		期末考査			○	○	○
	12	第5章環境調査と環境保全 土壌の調査		○	○		○
3学期	1	第4章栽培と飼育のプロジェクト 草花（苗）類の栽培	○野菜類の苗物生産を通し、気象要因と生育の関係、接木等の技術を習得する。 ○草花（苗）類の栽培を通し、育苗に関わる用土作りについても学ぶ。 ○1年間のプロジェクト活動を整理・発表し、次年度の活動計画に生かす。	○	○	○	○
	2	果菜苗の栽培		○	○	○	○
		学年末考査			○	○	○
	3	プロジェクト活動のまとめ		○	○		

評価の観点 ①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現 ③技能 ④知識・理解

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識するべきか）			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
授業を通じて・・・ 1 農業に関する様々な課題について関心を持ったか。 2 農業における課題の改善や向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けたか。 【評価の対象】 授業、実習態度	授業を通じて・・・ 1 農業に関する諸課題の解決を目指して思考を深めようとしたか。 2 基礎的・基本的な知識と技術を基に、農業に携わる者として適切にものごとを判断し、感じたことを表現する能力を身に付けたか。 【評価の対象】 レポート、実習態度	授業を通じて・・・ 1 農業と環境に関する基礎的・基本的な技術を身に付けたか。 2 農業に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に利用したか。 3 作物を丁寧に扱い、安全に留意して道具等を使用したか。 【評価の対象】 授業、実習態度	授業を通じて・・・ 1 農業と環境に関する基礎的・基本的な知識を身に付けたか。 2 農業の意義や役割を理解したか。 【評価の対象】 レポート、授業態度

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）
1 熱意をもって授業・実習に積極的に臨む。 2 基本をマスターする努力を根気強く持ち、自己流で作業するのではなく、説明をよく聞き、手順を守って実習するようにしてください。 3 特に実習は自分自身で体験することが重要なので、毎回欠かさず出席するよう心がけましょう。 4 実習の際は、安全面にも十分心がけましょう。 （1） このシラバスは、年度当初の年間計画を基に作成されたものです。よって学習した内容の定着度によっては学習計画の内容や進度等が変更されることがあります。 （2） 気象条件、学校行事、生徒数、実習教室の状況等により、予告なく学習内容の入れ替え、変更等が行われる場合もあります。 【授業態度の評価】補足 寝ていたら起こします。何度も起こすのに起きない場合は授業に参加する意思がないものとみなして減点します。同様に、私語についての指導を何回も受けた場合も減点の対象とします。逆に、授業内容に則した積極的な質問や発表は加点の対象とします。 【出席の状況】 欠課した分を減点します。しかし、部活動の大会や生徒会の活動による公欠やインフルエンザ等での出席停止では減点しません。また、事故や病気による長期欠席については考慮します。 【ノート・プリントの書き方】 授業のたびにしっかり書き、常に整理しておきましょう。提出の直前にまとめ書きするようなことは絶対にはいけません。 板書事項を写すだけでなく、自分で考えたり感じたりしたこと、疑問に思ったことなどについてのメモを残しておくことが大切です。授業後に調べたり、質問したりすることで、より確かな知識となります。 【成績の付け方】 中間考査+学期末考査での点数（60点）+平常点（40点）＝100点 平常点の内容：出席状況・授業態度・実習に対する熱意・技能・服装・レポートなど

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
課題研究	[農業]

履修学科	総合学科
履修学年	第2学年
履修単位	2単位
教科書	農業と環境（実教出版）
副教材	

科目目標
1 農業の各分野における課題解決について取り組んだ実践例を通して、課題解決方法を学ぶ。
2 調査・研究，作品製作，資格取得を通して、これまで学習した知識や技術をより深める。
3 自ら課題を設定し，自主的に調べ，創意工夫する。その成果について自ら評価する態度を身に付ける。

学期	月	単元名	学習内容	評価の観点			
				①	②	③	④
1学期	4	1 資格取得 (1) 危険物取扱者（丙種）試験の合格を目指す。 4月～7月 10月～11月 11月試験に向けて学習	【4月から11月まで】 ・危険物取扱者（丙種）試験に向けて学習する。 ・農業技術検定（初級）に向けて学習する。	○			○
	5			○			○
	6			○			○
	7			○			○
2学期	9	(2) 日本農業技術検定 3級合格を目指す 7月、12月検定実施予定 2 課題解決学習への取組 (1) 実践事例を学び、課題解決の方法を知る。 (2) プレゼンテーションソフトの使い方を学び、テーマに沿った発表を行う。		○			○
	10			○			○
	11			○			○
	12			○	○	○	
3学期	1	(3) 総合学科学習発表会を見て、地域農業の持つ諸課題を知る。 (4) 農業クラブ「意見発表」について、基準やテーマに沿った文章作成に取り組む。	発表会後にレポートを提出する。	○	○	○	
	2		各自作成した意見発表作文を発表し提出する。	○			○
	3			○			○

評価の観点 ①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現 ③技能 ④知識・理解

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
授業を通じて・・・ 1 農業に関する様々な課題について関心を持ったか。 2 農業における課題の改善や向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けたか。 【評価の対象】 授業態度	授業を通じて・・・ 1 農業に関する諸課題の解決を目指して思考を深めようとしたか。 2 基礎的・基本的な知識と技術を基に、農業に携わる者として適切にものごとを判断したり、感じたことを表現する能力を身に付けたか。 【評価の対象】 授業態度	授業を通じて・・・ 1 プレゼンテーションに関する基礎的・基本的な技術を身に付けたか。 2 発表にむけて合理的に計画し、その技術を適切に利用したか。 3 インターネットなどを活用して、効率的に情報収集を行ったか。 【評価の対象】 授業、実習態度	授業を通じて・・・ 1 資格取得に関する基礎的・基本的な知識を身につけたか。 2 農業の意義や役割を理解したか。 【評価の対象】 課題

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）
1 熱意をもって授業・実習に臨み、「やらされる」学習ではなく「やる」学習となるようにしよう。 2 基本をマスターする努力を根気強く持ち、自己流で作業するのではなく、説明をよく聞き、手順を守って実習するようにしてください。 3 資格取得は、能力よりも日々の学習の積み重ねが大切になります。少しずつでも理解しようとする姿勢が目的の資格取得につながります。 ・このシラバスは、年度当初の年間計画を基に作成されたものです。よって学習した内容の定着度によっては、学習計画の内容や進度等が変更されることがあります。 ・気象条件、学校行事、生徒数、実習教室の状況等により、予告なく学習内容の入れ替え、変更等が行われる場合もあります。 【授業態度の評価】補足 寝ていたら起こします。何度も起こすのに起きない場合は授業に参加する意思がないものとみなして減点します。同様に、私語についての指導を何回も受けた場合も減点の対象とします。逆に、授業内容に則した積極的な質問や発表は加点の対象とします。 【出席の状況】 欠課した分を減点します。しかし、部活動の大会や生徒会の活動による公欠やインフルエンザ等での出席停止では減点しません。また、事故や病気による長期欠席については考慮します。 【ノート・プリントの書き方】 授業のたびにしっかり書き、常に整理しておきましょう。提出の直前にまとめ書きするようなことは絶対にしてはいけません。 板書事項を写すだけでなく、自分で考えたり感じたりしたこと、疑問に思ったことなどについてのメモを残しておくことが大切です。授業後に調べたり、質問したりすることで、より確かな知識となります。 【成績の付け方】 考查を実施せず、資格取得状況・出席状況・授業態度・実習に対する熱意・技能・服装・レポートなどを総合的に評価する。 平常点 60 点 （出席 10 点、授業態度 50 点） レポート 40 点 （資格取得状況 20 点（危険物 10・農業技術検定 10）、毎時間の小テストの 20 点）

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
総合実習	[農業]

履修学科	総合学科
履修学年	第2学年
履修単位	2単位
教科書	なし
副教材	

科目目標
1 農業と環境・食品製造・グリーンライフについての体験的・探求的な学習を通して、農業に関する基礎的な知識と技術を習得する。
2 成長や収穫の喜びを経験し、農業及び農業学習についての興味関心を高める。
3 学習レポート提出によって、観察力や気づきの力を育てる。
4 学校農業クラブ活動の意義を理解し、科学性・社会性・指導性を身に付ける。

学期	月	単元名	学習内容	評価の観点			
				①	②	③	④
1学期	4	・学習レポート提出の仕方 ・意見発表大会	①学習レポート提出の仕方を学ぶ。 ②自分の農業観や将来像について考え、地域の農業や自然、文化について考える。 ③育苗・定植・仕立て方・受粉など栽培の基本を学習し、学習した内容を応用する力を身につける。 ④専門分野で扱われる機器・材料・生物などの名称や使い方などの知識を身に付ける。	○		○	○
	5	・実験実習（夏野菜の栽培） ・実験実習（食品加工）		○		○	
	6	・農業技術検定 ・農業鑑定競技大会		○	○	○	
	7	・島内視察研修		○	○	○	○
2学期	9	・実験実習（秋野菜） ・農業技術検定	①用土作りやよい床土の条件を学習し、学習した内容（播種・鉢上げ・鉢ずらしの方法や目的など）を応用する力を身につける。 ②育苗管理、定植、中耕、除草、追肥・土寄せ、病害虫の防除、収穫を学ぶ。 ③徳之島におけるバレイショ生産の学習（品種や作型など）やバレイショデンプンの抽出実験を行う。 ④定期的に農場内の除草作業を行い、施設内を清潔に保つ。		○	○	
	10	・実験実習（食品加工） ・島内施設研修		○	○		○
	11	・農場清掃作業		○		○	
	12			○	○	○	○
3学期	1	・実験実習（バレイショ） ・実験実習（接ぎ木苗）	①バレイショの収穫を通して規格外品の調査やバレイショの流過程を学習する。選別と単価、価格の決定の仕方について学習する。 ②春夏野菜の育苗を学習し、接ぎ木苗を制作する。 ③同じイネ科作物であるスイートコーンとサトウキビ栽培実験を行い、共通点や相違点について学習する。	○	○		○
	2	・島内視察研修 ・実験実習（イネ科作物）			○	○	
	3			○	○	○	○

評価の観点 ①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現 ③技能 ④知識・理解

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
授業を通じて・・・ 1 農業に関する様々な課題について関心を持ったか。 2 農業における課題の改善や向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けたか。 【評価の対象】 授業態度	授業を通じて・・・ 1 農業に関する諸課題の解決を目指して思考を深めようとしたか。 2 基礎的・基本的な知識と技術を基に、農業に携わる者として適切にものごとを判断し、感じたことを表現する能力を身に付けたか。 【評価の対象】 レポート	授業を通じて・・・ 1 農業に関する基礎的・基本的な技術を身に付けたか。 2 実験実習に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に利用したか。 3 作物を丁寧に扱い、安全に留意して道具等を使用したか。 【評価の対象】 実習態度	授業を通じて・・・ 1 実験実習を通して基礎的・基本的な知識を身に付けたか。 2 農業の意義や役割を理解したか。 【評価の対象】 レポート

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）
1 熱意をもって授業・実習に積極的に臨む。 2 基本をマスターする努力を根気強く持ち、自己流で作業するのではなく、説明をよく聞き、手順を守って実習するようにしてください。 3 他教科で学んだことを生かし、自分自身で体験することが重要なので、毎回欠かさず出席するよう心がけましょう。 4 実習の際は、安全面にも十分心がけましょう。 ・このシラバスは、年度当初の年間計画を基に作成されたものです。よって学習した内容の定着度によっては、学習計画の内容や進度等が変更されることがあります。 ・気象条件、学校行事、生徒数、実習教室の状況等により、予告なく学習内容の入れ替え、変更等が行われる場合もあります。 【学習レポートの書き方】 実習のたびにしっかり書き、常に整理しておきましょう。提出の直前にまとめ書きするようなことは絶対にしてはいけません。自分で考えたり感じたりしたこと、疑問に思ったことなどについてのメモを残しておくことが大切です。授業後に調べたり、質問したりすることで、より確かな知識となります。 【出席の状況】 欠課した分を減点します。しかし、部活動の大会や生徒会の活動による公欠やインフルエンザ等での出席停止では減点しません。また、事故や病気による長期欠席については考慮します。 【成績の付け方】 学期ごとの考査を実施せず、授業態度・実習に対する熱意・技能・服装・出席状況・記録簿などを総合的に評価する。 平常点70点（出席10点、実習レポート点60点） レポート30点（島内研修等の農場行事でのレポート30点）

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
グリーンライフ	[農業]

履修学科	総合学科
履修学年	第2学年
履修単位	2単位
教科書	グリーンライフ（農文協）
副教材	

科目目標
1 農林業・農山村の特色を生かした生活体験を提供する活動に必要な知識と技術を習得する。
2 地域資源の有用性を理解し、地域に根ざした事業の振興に寄与できる能力と態度を育てる。

学期	月	単元名	学習内容	評価の観点			
				①	②	③	④
1 学期	4	第1章「グリーンライフ」の世界 ・人間生活とグリーンライフ ・「グリーンライフ」と交流・余暇活動型経営	・グリーンライフとは何かについて学習する。 ・時代の流れとともに、人類が余暇活動に求めるものが変化したことを知る。 グリーンライフが環境保全や文化・経済を高める活動であることを理解する。 ・農業の魅力や農村の自然や文化・料理などについて知識を高める。	○			○
	5	・「グリーンライフ」の学びの世界			○	○	
	6	第2章農業・農村の機能の発見と活用 ・農業・農村の魅力と「農」の世界を探る		○		○	○
	期末考査				○	○	○
	7	・自然環境と農業・農村の発見・活用			○	○	
2 学期	9	・地域農産物の発見と栽培・加工 ・農業・農村の機能の総合的な活用	・地域資源にはどのようなものがあるかについて個人での調べ学習やグループ活動を通じて検討する。	○	○		
	10			○		○	○
	11	第3章グリーン・ツーリズム グリーン・ツーリズムの特徴とあゆみ		○	○		○
	期末考査			○	○	○	
	12	・グリーン・ツーリズムのおもな取り組み	・世界的なグリーンツーリズムの動きについて事例を学び、理解を深める。	○	○		○
3 学期	1	・グリーン・ツーリズムの企画と運営 ・グリーン・ツーリズムと農業 ・農村生活の向上	・居住地域において、村おこしや地域の活性化事業等に知るとともに、地域興しに必要な企画と運営の方法について理解を深める。	○			○
	2			○		○	○
	学年末考査				○	○	○
	3			○	○	○	

評価の観点 ①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現 ③技能 ④知識・理解

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
授業を通じて・・・ 1 農村の持つ魅力や様々な課題について関心をもったか。 2 農村における課題の改善や向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けたか。 【評価の対象】 授業態度	授業を通じて・・・ 1 グリーンライフに関する諸課題の解決を目指して思考を深めようとしたか。 2 基礎的・基本的な知識と技術を基に、農業に携わる者として適切にものごとを判断し、感じたことを表現する能力を身に付けたか。 【評価の対象】 授業態度	授業を通じて・・・ 1 グリーンライフに関する基礎的・基本的な技術を身に付けたか。 2 グリーンライフに関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に利用したか。 【評価の対象】 レポート、授業態度	授業を通じて・・・ 1 グリーンライフに関する基礎的・基本的な知識を身に付けたか。 2 グリーンライフの意義や役割を理解したか。 【評価の対象】 レポート

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）
1 熱意をもって授業・実習に積極的に臨む。 2 基本をマスターする努力を根気強く持ち、自己流で作業するのではなく、説明をよく聞き、手順を守って実習するようにしてください。 3 特に実習は自分自身で体験することが重要なので、毎回欠かさず出席するよう心がけましょう。 4 実習の際は、安全面にも十分心がけましょう。 5 このシラバスは、年度当初の年間計画を基に作成されたものです。よって学習した内容の定着度によっては学習計画の内容や進度等が変更されることがあります。 6 気象条件、学校行事、生徒数、実習教室の状況等により、予告なく学習内容の入れ替え、変更等が行われる場合もあります。 【授業態度の評価】補足 寝ていたら起こします。何度も起こすのに起きない場合は授業に参加する意思がないものとみなして減点します。同様に、私語についての指導を何回も受けた場合も減点の対象とします。逆に、授業内容に則した積極的な質問や発表は加点の対象とします。 【出席の状況】 欠課した分を減点します。しかし、部活動の大会や生徒会の活動による公欠やインフルエンザ等での出席停止では減点しません。また、事故や病気による長期欠席については考慮します。 【ノート・プリントの書き方】 授業のたびにしっかり書き、常に整理しておきましょう。提出の直前にまとめ書きするようなことは絶対にはいけません。 板書事項を写すだけでなく、自分で考えたり感じたりしたこと、疑問に思ったことなどについてのメモを残しておくことが大切です。授業後に調べたり、質問したりすることで、より確かな知識となります。 【成績の付け方】 中間考査+学期末考査での点数（60点）+平常点（40点）＝100点 平常点の内容：出席状況・授業態度・実習に対する熱意・技能・服装・レポートなど

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
食品製造	[農業]

履修学科	総合学科
履修学年	第2学年
履修単位	2単位
教科書	食品製造（実教出版）
副教材	

科目目標
1 食品加工の原理や食品産業の役割など製造に関心をもち、食品加工についての体験的・探求的な学習を通して、農業に関する基礎的な知識と技術を習得する。 2 原材料の加工適性や食品適性に応じた食品製造や貯蔵に意欲的に取り組むとともに、食品加工の方法についての興味関心を高める。 3 衛生管理や作業体系を改善するなど品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な態度を身に付け、科学的思考力と問題解決能力を伸ばし、農業の各分野の発展を図る態度を育てる。

学期	月	単元名	学習内容	評価の観点			
				①	②	③	④
1学期	4	第1章 食品製造の意義と動向 第2章 食品製造の基礎	①食品について正しく理解し、なぜ加工をしなければならないかを学ぶ。 ②食品の栄養や食品加工に関する基礎的な事柄を予備知識として理解する。 ③食品の安全を守るための食品衛生の重要性を理解する。	○			○
	5	第4章 食品加工と食品衛生			○	○	○
	6			○	○	○	
		【豚みそ製造実習 5月・7月】					
		期末考査			○	○	○
2学期	7	第3章 食品の変質と貯蔵	①食品が変質する原因を理解する。食品の各種貯蔵法の原理と、その方法を学ぶ。 ②畜産物の加工特性を理解し、製造工程や技術を身に付ける。	○		○	
	9	第7章 畜産物の加工		○		○	○
	10			○	○		○
	11		【食品衛生責任者養成講習】 【豚みそ製造実習 10月・12月】	○		○	
		期末考査			○	○	○
3学期	12	第8章 発酵食品の製造	①発酵食品の特徴を理解する。微生物の種類とその働きの重要性を学ぶ。	○		○	○
	1	第5章 食品の包装と表示	②食品の包装の目的を理解し、その種類を知る。そして、包装技術を学ぶ。	○	○	○	○
	2		【豚みそ製造実習 1月】	○		○	○
		学年末考査			○	○	○
	3			○		○	○

評価の観点 ①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現 ③技能 ④知識・理解

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
授業を通じて・・・ 1 食品製造に関する諸課題について関心を持ったか。 2 食品製造における課題の改善や向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けたか。 【評価の対象】 授業、実習態度	授業を通じて・・・ 1 食品製造に関する諸課題の解決を目指して思考を深めようとしたか。 2 基礎的・基本的な知識と技術を基に、農業に携わる者として適切にものごとを判断し、感じたことを表現する能力を身につけたか。 【評価の対象】 レポート、実習態度	授業を通じて・・・ 1 食品製造に関する基礎的・基本的な技術を身につけたか。 2 食品製造に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に利用したか。 3 食品を衛生的に扱い、安全に留意して道具等を使用したか。 【評価の対象】 レポート、実習態度	授業を通じて・・・ 1 食品製造に関する基礎的・基本的な知識を身に付けたか。 2 食品製造の意義や役割を理解したか。 【評価の対象】 レポート

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）
1 熱意をもって授業・実習に積極的に臨む。 2 基本をマスターする努力を根気強く持ち、自己流で作業するのではなく、説明をよく聞き、手順を守って実習するようにしてください。 3 特に実習は自分自身で体験することが重要なので、毎回欠かさず出席するよう心がけましょう。 4 加工室へ入室したら真剣勝負！色々な人に食べていただく食品の加工をしていることを肝に銘じ、日常生活から清潔感を持って生活し、実習の際は、安全面にも十分心がけましょう。 ・このシラバスは、年度当初の年間計画を基に作成されたものです。よって学習した内容の定着度によっては、学習計画の内容や進捗等が変更されることがあります。 ・気象条件、学校行事、生徒数、実習教室の状況等により、予告なく学習内容の入れ替え、変更等が行われる場合もあります。 【授業態度の評価】補足 寝ていたら起こします。何度も起こすのに起きない場合は授業に参加する意思がないものとみなして減点します。同様に、私語についての指導を何回も受けた場合も減点の対象とします。逆に、授業内容に則した積極的な質問や発表は加点の対象とします。 【出席の状況】 欠課した分を減点します。しかし、部活動の大会や生徒会の活動による公欠やインフルエンザ等での出席停止では減点しません。また、事故や病気による長期欠席については考慮します。 【ノート・プリントの書き方】 授業のたびにしっかり書き、常に整理しておきましょう。提出の直前にまとめ書きするようなことは絶対にしてはいけません。 板書事項を写すだけでなく、自分で考えたり感じたりしたこと、疑問に思ったことなどについてのメモを残しておくことが大切です。授業後に調べたり、質問したりすることで、より確かな知識となります。 【成績の付け方】 学期末考査での点数（60点）+平常点（40点）＝100点 平常点の内容：出席状況・授業態度・実習に対する熱意・技能・服装・レポートなど

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
課題研究	[農業]

履修学科	総合学科
履修学年	第3学年
履修単位	4単位
教科書	
副教材	

科目目標
1 生徒がこれまでの農業学習を振りかえり、各教科・科目で学習した個々の知識・技術を生かして課題解決に取り組む態度を養う。 2 主体的に課題を設定して計画を立て、問題を解決する学習方法により、計画性、実践力及び問題解決能力を身に付ける。 3 自主的、継続的に学習する姿勢と探求的、創造的な態度と能力を養う。 4 課題研究の成果を分かりやすくまとめ、また、発表を通して達成感を味わいながら自己実現を図る能力と態度を養う。

学期	月	単元名	学習内容	評価の観点			
				①	②	③	④
1学期	4	- 課題研究の進め方 - 課題の例示 - 事前指導 - 生徒の課題の設定 - 個人・グループの編成 - 学習計画の立案・実践 - 学習活動 - 成果のまとめ（中間）	- 課題研究のねらいを生徒に理解させる。（農業の専門科目で学習したことを基本とする。） - 過去の取り組み例を紹介し、現在の課題を身に付けさせる。 - 調査や話し合いを通して課題を設定し、学習計画を立てる。 - これまでの成果をまとめ、2学期からの活動に活かす。	○			
	5			○	○		
	6			○	○		○
	7				○	○	○
2学期	9	- 学習活動 - 成果のまとめ（最終）	- 進捗状況をふまえて当初計画の見直しを行う。 - 課題解決に向けて主体的に実践する。 - 記録簿などを整理し、発表用データをパソコンで作成する。	○	○		
	10						
	11						
	12				○	○	○
3学期	1	成果の報告・発表 学習の反省・評価	- 課題研究発表会でパソコンなどを使って取り組みの成果を発表する。 - 研究報告書を制作し提出する。	○	○	○	
	2						
	3						

評価の観点 ①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現 ③技能 ④知識・理解

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識するべきか）			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
授業を通じて・・・ 1 農業に関する様々な課題について関心を持ったか。 2 農業における課題の改善や向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けたか。 【評価の対象】 授業態度、レポート	授業を通じて・・・ 1 農業に関する諸課題の解決を目指して思考を深めようとしたか。 2 基礎的・基本的な知識と技術を基に、農業に携わる者として適切にものごとを判断したり、感じたことを表現する能力を身に付けたか。 【評価の対象】 レポート、授業態度	授業を通じて・・・ 1 課題を解決するために必要な技術を身に付けたか。 2 課題研究を効率よく進める計画を立て、見通しをもって行動することができたか。 3 アンケート結果や教師のアドバイス等を踏まえたプレゼンテーションの作成や図表の制作ができたか。 【評価の対象】 レポート	授業を通じて・・・ 1 課題研究を通して問題解決に必要な知識を身に付けたか。 2 課題研究の意義や目的を理解したか。 【評価の対象】 レポート

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）
1 熱意をもって授業・実習に臨み、「やらされる」学習ではなく「やる」学習となるようにしよう。 2 基本をマスターする努力を根気強く持ち、自己流で作業するのではなく、説明をよく聞き、手順を守って実習するようにしてください。 3 自分自身で体験することが重要なので、毎回欠かさず出席するよう心がけましょう。 4 実習の際は、安全面にも十分心がけましょう。 ・このシラバスは、年度当初の年間計画を基に作成されたものです。よって学習した内容の定着度によっては、学習計画の内容や進度等が変更されることがあります。 ・気象条件、学校行事、生徒数、実習教室の状況等により、予告なく学習内容の入れ替え、変更等が行われる場合もあります。 【出席の状況】 欠課した分を減点します。しかし、部活動の大会や生徒会の活動による公欠やインフルエンザ等での出席停止では減点しません。また、事故や病気による長期欠席については考慮します。 【ノート・プリントの書き方】 授業のたびにしっかり書き、常に整理しておきましょう。提出の直前にまとめ書きするようなことは絶対にしてはいけません。自分で考えたり感じたりしたこと、疑問に思ったことなどについてのメモを残しておくことが大切です。授業中に調べたり、質問したりすることで、より確かな知識となります。 【成績の付け方】 考查を実施せず、課題研究発表に取り組む態度や関心・服装・出席状況・授業態度・実習に対する熱意・技能・服装・記録簿などを総合的に評価する。 平常点 60 点（出席 10 点，研究状況 40 点，発表 10 点） レポート 40 点（課題研究日誌 25 点，計画書 5 点，中間報告書 5 点，最終報告書 5 点）

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
総合実習	[農業]

履修学科	総合学科
履修学年	第3学年
履修単位	4単位
教科書	なし
副教材	

科目目標
1 グリーンライフ・農業機械・食品製造・についての体験的・探求的な学習を通して、農業に関する基礎的な知識と技術を習得します。 2 成長や収穫の喜びを経験し、農業及び農業学習についての興味関心を高めます。 3 学習レポート提出によって観察力と継続性を通じた気づきの力を育てます。 4 学校農業クラブ活動の意義を理解し、科学性・社会性・指導性を身に付ける。

学期	月	単元名	学習内容	評価の観点			
				①	②	③	④
1学期	4	・学習レポート提出の仕方 ・意見発表大会	①2年次の学習レポートよりも充実した内容を書くための方法を考え、工夫する。	○		○	○
	5	・実験実習（マンゴーの栽培） ・農場清掃作業 ・農業技術検定	②マンゴー栽培の基本を学習する。また、実験実習として規格外品マンゴーでの食品加工を行う。	○		○	
	6	・農業鑑定競技大会	③専門分野で扱われる機器・材料・生物などの名称や使い方などの知識を身に付ける。	○	○	○	
	7	・島内視察研修	④定期的に農場内の除草作業を行い、施設内を清潔に保つ。	○	○	○	○
2学期	9	・実験実習（秋野菜） ・農業技術検定	①用土作りやよい床土の条件を学習し、学習した内容（播種・鉢上げ・鉢ずらしの方法や目的など）を応用する力を身に付ける。		○	○	
	10	・実験実習（食品加工） ・島内施設研修 ・農場清掃作業	②育苗管理、定植、中耕、除草、追肥・土寄せ、病害虫の防除、収穫を学ぶ。	○	○		○
	11		③徳之島におけるバレイショ生産の学習（品種や作型など）やバレイショデンプンの酵素反応実験を行う。	○		○	
	12		④定期的に農場内の除草作業を行い、施設内を清潔に保つ。	○	○	○	○
3学期	1	・実験実習（バレイショ）	①規格外バレイショの有効活用について、調べた内容をレポート提出する。	○	○		○
	2						
	3						

評価の観点 ①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現 ③技能 ④知識・理解

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
授業を通じて・・・ 1 農業に関する様々な課題について関心をもったか。 2 農業における課題の改善や向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けたか。 【評価の対象】 授業態度	授業を通じて・・・ 1 農業に関する諸課題の解決を目指して思考を深めようとしたか。 2 基礎的・基本的な知識と技術を基に、農業に携わる者として適切にものごとを判断し、感じたことを表現する能力を身に付けたか。 【評価の対象】 授業態度、レポート	授業を通じて・・・ 1 農業に関する基礎的・基本的な技術を身に付けたか。 2 実験実習に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に利用したか。 3 作物を丁寧に扱い、安全に留意して道具等を使用したか。 【評価の対象】 授業、実習態度	授業を通じて・・・ 1 実験実習を通して基礎的・基本的な知識身に付けたか。 2 農業の意義や役割を理解したか。 【評価の対象】 レポート

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）
1 熱意をもって授業・実習に積極的に臨む。 2 基本をマスターする努力を根気強く持ち、自己流で作業するのではなく、説明をよく聞き、手順を守って実習するようにしてください。 3 他教科で学んだことを生かし、自分自身で体験することが重要なので、毎回欠かさず出席するよう心がけましょう。 4 実習の際は、安全面にも十分心がけましょう。 ・このシラバスは、年度当初の年間計画を基に作成されたものです。よって学習した内容の定着度によっては、学習計画の内容や進捗等が変更されることがあります。 ・気象条件、学校行事、生徒数、実習教室の状況等により、予告なく学習内容の入れ替え、変更等が行われる場合もあります。 【記録簿の書き方】 実習のたびにしっかり書き、常に整理しておきましょう。提出の直前にまとめ書きするようなことは絶対にしてはいけません。自分で考えたり感じたりしたこと、疑問に思ったことなどについてのメモを残しておくことが大切です。授業後に調べたり、質問したりすることで、より確かな知識となります。 【出席の状況】 欠課した分を減点します。しかし、部活動の大会や生徒会の活動による公欠やインフルエンザ等での出席停止では減点しません。また、事故や病気による長期欠席については考慮します。 【成績の付け方】 学期ごとの考査を実施せず、授業態度・実習に対する熱意・技能・服装・出席状況・記録簿などを総合的に評価する。 平常点70点（出席10点、実習レポート点60点） レポート30点（島内研修等の農場行事でのレポート30点）

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
グリーンライフ	[農業]

履修学科	総合学科
履修学年	第3学年
履修単位	2単位
教科書	グリーンライフ（農文協）
副教材	

科目目標
1 農林業・農山村の特色を生かした生活体験を提供する活動に必要な知識と技術を習得します。 2 地域資源の有用性を理解し、地域に根ざした事業の振興に寄与できる能力と態度を育てます。

学期	月	単元名	学習内容	評価の観点			
				①	②	③	④
1学期	4	第4章市民農園 ・市民農園の特徴とあゆみ	①市民農園が増えていった背景を知るとともに、その特徴やタイプについて理解する。	○			○
	5	・市民農園の開設と運営	②市民農園を開設するにあたって必要となる基本的な知識や態度について学習する。		○	○	
	6	・市民農園と農業・農村生活の向上	③市民農園が農業・農村生活の向上とどのように関わりがあるかについて理解する。	○		○	○
	期末考査				○	○	○
	7	第5章観光農園，直売所 ・観光農園，直売所の特徴とあゆみ	④観光農園が形成されるようになった背景について知り，観光農園の特徴やタイプについて学習する。		○	○	
2学期	9	・観光農園の企画・開園と運営	①実践例を通して，観光農園における運営と接客について必要な知識や態度について考える。	○	○		
	10			○		○	○
	11	・直売所の企画・開設と運営	②直売所が形成されるようになった背景について知り，直売所の特徴やタイプについて理解する。	○	○		○
	期末考査				○	○	○
	12	・直売所の運営と接客	③販売実習を通して，直売所の運営と接客において必要な知識や態度を身に付ける。	○	○		○
3学期	1	・観光農園，直売所と農業・農村生活の向上	①実習や実践事例を交えて，観光農園や直売所における経営の改善について考える。	○			○
	学年末考査				○	○	○
	2						
	3						

評価の観点 ①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現 ③技能 ④知識・理解

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
授業を通じて・・・ 1 農村の持つ魅力や様々な課題について関心をもったか。 2 農村における課題の改善や向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けたか。 【評価の対象】 授業，実習態度	授業を通じて・・・ 1 グリーンライフに関する諸課題の解決を目指して思考を深めようとしたか。 2 基礎的・基本的な知識と技術を基に，農業に携わる者として適切にものごとを判断したり，感じたことを表現する能力を身に付けたか。 【評価の対象】 レポート，授業態度	授業を通じて・・・ 1 グリーンライフに関する基礎的・基本的な技術を身に付けたか。 2 グリーンライフに関する諸活動を合理的に計画し，その技術を適切に利用したか。 【評価の対象】 レポート	授業を通じて・・・ 1 グリーンライフに関する基礎的・基本的な知識を身に付けたか。 2 グリーンライフの意義や役割を理解したか。 【評価の対象】 レポート

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）
1 熱意をもって授業・実習に積極的に臨む。 2 基本をマスターする努力を根気強く持ち，自己流で作業するのではなく，説明をよく聞き，手順を守って実習するようにしてください。 3 特に実習は自分自身で体験することが重要なので，毎回欠かさず出席するよう心がけましょう。 4 実習の際は，安全面にも十分心がけましょう。 ・このシラバスは，年度当初の年間計画を基に作成されたものです。よって学習した内容の定着度によっては学習計画の内容や進捗等が変更されることがあります。 ・気象条件，学校行事，生徒数，実習教室の状況等により，予告なく学習内容の入れ替え，変更等が行われる場合もあります。 【授業態度の評価】補足 寝ていたら起こします。何度も起こすのに起きない場合は授業に参加する意思がないものとみなして減点します。同様に，私語についての指導を何回も受けた場合も減点の対象とします。逆に，授業内容に則した積極的な質問や発表は加点の対象とします。 【出席の状況】 欠課した分を減点します。しかし，部活動の大会や生徒会の活動による公欠やインフルエンザ等での出席停止では減点しません。また，事故や病気による長期欠席については考慮します。 【ノート・プリントの書き方】 授業のたびにしっかり書き，常に整理しておきましょう。提出の直前にまとめ書きするようなことは絶対にしてはいけません。 板書事項を写すだけでなく，自分で考えたり感じたりしたこと，疑問に思ったことなどについてのメモを残しておくことが大切です。授業後に調べたり，質問したりすることで，より確かな知識となります。 【成績の付け方】 中間考査+学期末考査での点数（60点）+平常点（40点）＝100点 平常点の内容：出席状況・授業態度・実習に対する熱意・技能・服装・レポートなど

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
農業機械	[農業]

履修学科	総合学科
履修学年	第3学年
履修単位	2単位
教科書	農業機械（実教）
副教材	

科目目標
1 農業機械の取り扱いと維持管理に必要な知識を習得する。 2 機械構造と作業上の特性を理解し、運転実習等を通じて農業機械の効率的な利用を図る能力と態度を身に付ける。

学期	月	単元名	学習内容	評価の観点			
				①	②	③	④
1学期	4	農業と農業機械	①農作業における農業機械の役割とその種類について学ぶ。 ②基本的工具の名称及び取扱い方法について理解する。	○			○
	5	トラクタの構造と操作	①トラクタの構造と整備，操作の安全性や燃料と潤滑油について学ぶ。 ②実際に運転し，操作上の安全性を学ぶ。操作前後の点検や安全作業に必要な服装などを学ぶ。 ③併せて，危険物取扱者試験受験のための学習も行う。	○	○	○	○
	6						
	期末考査				○	○	○
	7	原動機の構造と整備	①4行程・2行程ガソリン機関，ディーゼル機関についてその特徴や主要部の構造・はたらきについて学ぶ。また，仕様・性能や運転・整備について分解・組立をとおして理解を深める。	○	○	○	○
2学期	9			○	○	○	○
	10	トラクターの操作 作業機の構造と利用	①耕運整地用機械，防除用機械および各種作業機の取扱いについて学ぶ。 ②耕運，畝立て技術などを栽培体系に応じて実施できるようになる。また，各種作業機の整備取扱い法を学ぶ	○	○	○	○
	11						
	期末考査				○	○	○
	12	農業機械の利用と機械化体系	①農業機械の役割を再確認し，農業機械の選択・利用法を学ぶ。	○	○	○	○
3学期	1			○	○	○	○
	学年末考査				○	○	○
	2						
	3						

評価の観点 ①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現 ③技能 ④知識・理解

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
授業を通じて・・・ 1 農業機械の役割について関心をもったか。 2 農業における課題の改善や向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けたか。 【評価の対象】 授業，実習態度	授業を通じて・・・ 1 農業機械に関する内容理解を目指して思考を深めようとしたか。 ② 基礎的・基本的な知識と技術を基に，農業に携わる者として適切にものごとを判断し，感じたことを表現する能力を身に付けたか。 【評価の対象】 レポート，実習態度	授業を通じて・・・ 1 農業機械に関する基礎的・基本的な技術を身に付けたか。 2 農業機械を取り扱うための諸活動を合理的に計画し，その技術を適切に利用したか。 3 安全に留意して作業服の着衣を行い，工具等を使用したか。 【評価の対象】 レポート，実習態度	授業を通じて・・・ 1 農業機械に関する基礎的・基本的な知識身に付けたか。 2 農業機械の意義や役割を理解したか。 【評価の対象】 レポート

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）
1 熱意をもって授業・実習に積極的に臨む。 2 基本をマスターする努力を根気強く持ち，自己流で作業するのではなく，説明をよく聞き，手順を守って実習するようにしてください。 3 特に実習は自分自身で体験することが重要なので，毎回欠かさず出席するよう心がけましょう。 4 実習の際は，安全面にも十分心がけましょう。特に，機械操作によっては服装についても十分注意し，事故が起こらないよう，また怪我を防止できるよう努めましょう。 ・このシラバスは，年度当初の年間計画を基に作成されたものです。よって学習した内容の定着度によっては，学習計画の内容や進捗等が変更されることがあります。 ・気象条件，学校行事，生徒数，実習教室の状況等により，予告なく学習内容の入れ替え，変更等が行われる場合もあります。 【授業態度の評価】補足 寝ていたら起こします。何度も起こすのに起きない場合は授業に参加する意思がないものとみなして減点します。同様に，私語についての指導を何回も受けた場合も減点の対象とします。 逆に，授業内容に則した積極的な質問や発表は加点の対象とします。 【出席の状況】 欠課した分を減点します。しかし，部活動の大会や生徒会の活動による公欠やインフルエンザ等での出席停止では減点しません。また，事故や病気による長期欠席については考慮します。 【ノート・プリントの書き方】 授業のたびにしっかり書き，常に整理しておきましょう。提出の直前にまとめ書きするようなことは絶対にはいけません。 板書事項を写すだけでなく，自分で考えたり感じたりしたこと，疑問に思ったことなどについてのメモを残しておくことが大切です。授業後に調べたり，質問したりすることで，より確かな知識となります。 【成績の付け方】 学期末考査での点数（60点）+平常点（40点）＝100点 平常点の内容：出席状況・授業態度・実習に対する熱意・技能・服装・レポートなど

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
食品製造	[農業]

履修学科	総合学科
履修学年	第3学年
履修単位	4単位
教科書	食品製造（実教出版）
副教材	

科目目標
1 食品加工の原理や食品産業の役割など製造に関心をもち、食品加工についての体験的・探求的な学習を通して、農業に関する基礎的な知識と技術を習得します。 2 原材料の加工適性や食品適性に応じた食品製造や貯蔵に意欲的に取り組むとともに、食品加工の方法についての興味関心を高めます。 3 衛生管理や作業体型を改善するなど品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な態度を身に付け、科学的思考力と問題解決能力を伸ばし、農業の各分野の発展を図る態度を育てます。

学期	月	単元名	学習内容	評価の観点			
				①	②	③	④
1学期	4	第1章 食品製造の意義と動向	2学年次の復習をする。	○		○	○
	5	第4章 食品加工と食品衛生	【豚みそ製造実習 5月・7月】		○		○
		中間考査			○	○	○
	6	第6章 農産物の加工	①穀類の種類と特徴を知り、加工の原理を理解する。 ②大豆の特徴と加工特性について理解する。	○	○	○	
		期末考査			○	○	○
	7	第7章 畜産物の加工	①肉の種類とその処理方法および原料肉の選び方を学ぶ。 ②肉の加工特性を知り、肉加工品との関係を理解する。			○	○
2学期	9			○		○	○
	10				○	○	
		中間考査			○	○	○
	11	第5章 食品の変質と貯蔵 第4章 食品の包装と表示	実習を振り返り、第3章、第4章、第6章の内容の理解を深める。 【豚みそ製造実習 10・12月】	○		○	○
		期末考査			○	○	○
3学期	12	第10章 生産管理の改善 品質の意義を考える。	①HACCP等、食品の安心・安全確保に向けた社会の動向を知る。 【豚みそ製造実習 1月】	○	○	○	○
	1			○	○	○	○
		学年末考査			○	○	○
	2						
	3						

評価の観点 ①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現 ③技能 ④知識・理解

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
授業を通じて・・・ 1 食品製造に関する諸課題について関心をもったか。 2 食品製造における課題の改善や向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けたか。 【評価の対象】 授業態度	授業を通じて・・・ 1 食品製造に関する諸課題の解決を目指して思考を深めようとしたか。 2 基礎的・基本的な知識と技術を基に、農業に携わる者として適切にものごとを判断し、感じたことを表現する能力を身に付けたか 【評価の対象】 レポート、授業、実習態度	授業を通じて・・・ 1 食品製造に関する基礎的・基本的な技術身に付けたか。 2 食品製造に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に利用したか。 3 食品を衛生的に扱い、安全に留意して道具等を使用したか。 【評価の対象】 授業、実習態度	授業を通じて・・・ 1 食品製造に関する基礎的・基本的な知識を身に付けたか。 2 食品製造の意義や役割を理解したか。 【評価の対象】 レポート

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）
1 熱意をもって授業・実習に積極的に臨む。 2 基本をマスターする努力を根気強く持ち、自己流で作業するのではなく、説明をよく聞き、手順を守って実習するようにしてください。 3 特に実習は自分自身で体験することが重要なので、毎回欠かさず出席するよう心がけましょう。 4 人が口にする食品を加工していることを肝に銘じ、日常生活から爪や頭髮を整え、また身の回りを清潔にし、実習の際は、事前に徹底した消毒を行い安全面にも十分配慮しましょう。 ・このシラバスは、年度当初の年間計画を基に作成されたものです。よって学習した内容の定着度によっては、学習計画の内容や進度等が変更されることがあります。 ・気象条件、学校行事、生徒数、実習教室の状況等により、予告なく学習内容の入れ替え、変更等が行われる場合もあります。 【授業態度の評価】補足 寝ていたら起こします。何度も起こすのに起きない場合は授業に参加する意思がないものとみなして減点します。同様に、私語についての指導を何回も受けた場合も減点の対象とします。逆に、授業内容に則した積極的な質問や発表は加点の対象とします。 【出席の状況】 欠課した分を減点します。しかし、部活動の大会や生徒会の活動による公欠やインフルエンザ等での出席停止では減点しません。また、事故や病気による長期欠席については考慮します。 【ノート・プリントの書き方】 授業のたびにしっかり書き、常に整理しておきましょう。提出の直前にまとめ書きするようなことは絶対にしてはいけません。 板書事項を写すだけでなく、自分で考えたり感じたりしたこと、疑問に思ったことなどについてのメモを残しておくことが大切です。授業後に調べたり、質問したりすることで、より確かな知識となります。 【成績の付け方】 学期末考查での点数（60点）+平常点（40点）＝100点 平常点の内容：出席状況・授業態度・実習に対する熱意・技能・服装・レポートなど